

# 新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた心肺蘇生法の注意点

## ※ 基本的な考え方

心肺蘇生はエアロゾル(空気中に漂う微細な微粒子)を発生させる可能性があることから以下の点に留意して心肺蘇生法を実施する必要があります。

### 1 反応と呼吸を確認する場合

倒れている人の意識の有無及び呼吸の確認を行う場合は、顔を近付けないようにして行う。



### 2 心肺蘇生を行う場合

胸骨圧迫を行う際は、倒れている人の鼻と口にタオルやハンカチ等をかぶせて行う。

※AEDの使用については変更ありません

[成人の場合]

人工呼吸は実施せず、胸骨圧迫のみを行う。



[子供の場合]

講習を受け技術を身に付けており、行う意思がある場合は、胸骨圧迫に加えて人工呼吸も実施する。

※子供の場合は、窒息や溺水など呼吸障害を原因とすることが多く、人工呼吸の必要性が比較的高いためです。

感染の危険からためらいがある場合は、胸骨圧迫だけを継続する。



## ※ 心肺蘇生実施後には！

救急隊が到着して引き継いだならば速やかに、手と顔を石鹸で洗い使用したハンカチ等は直に触れることなく廃棄する。